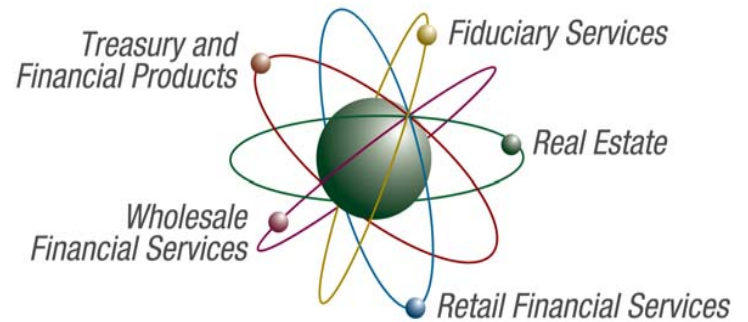




SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

*Sumitomo Trust & Banking
Co., Ltd.*

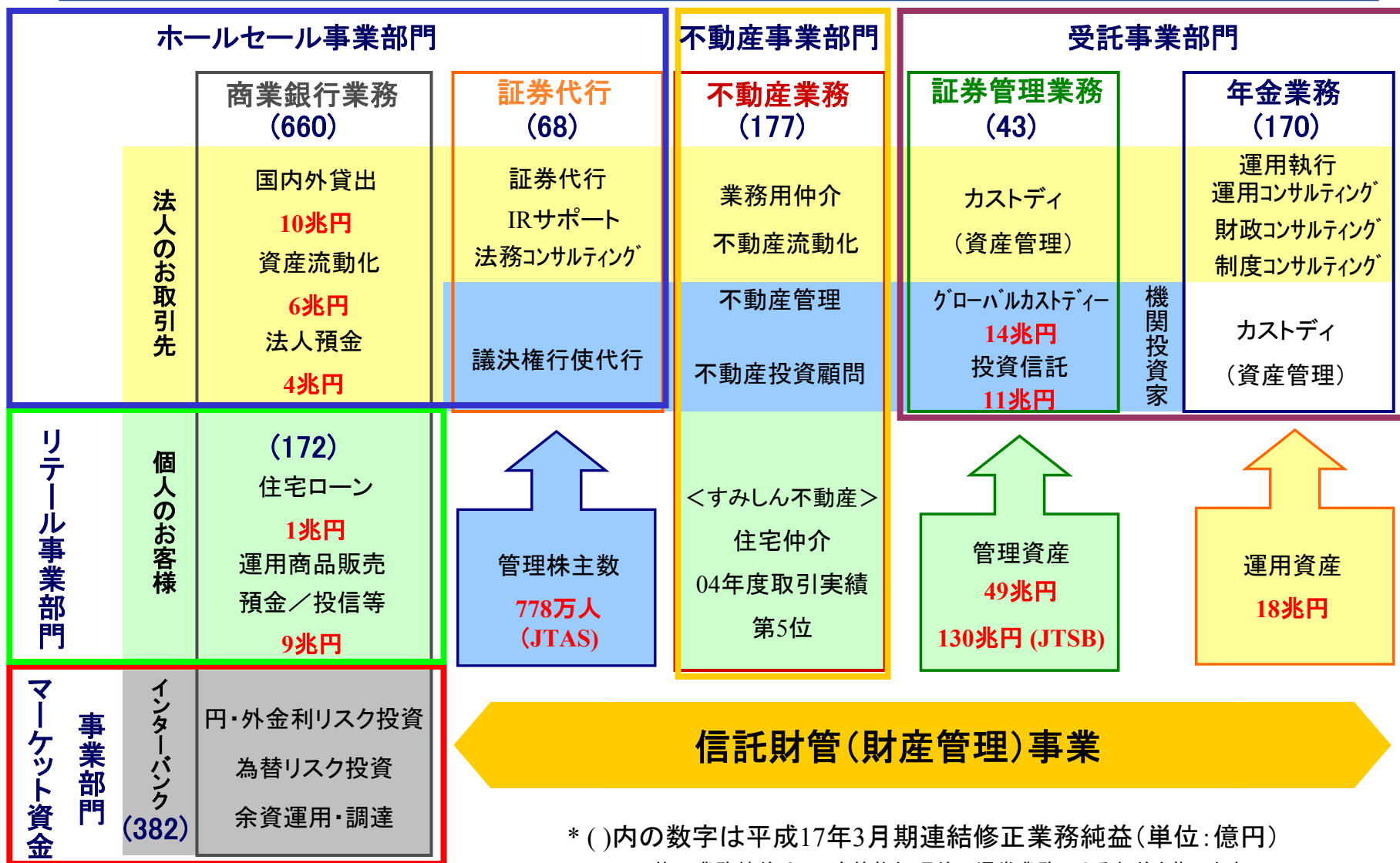


CLSA Japan Forum 2006

2006年2月

- ▶ 住友信託の特長
- ▶ 経営方針
- ▶ 経営上の優先課題
- ▶ 既存ビジネスの成長
- ▶ 戦略的投資による成長

住友信託の特長(1)



* ()内の数字は平成17年3月期連結修正業務純益(単位:億円)

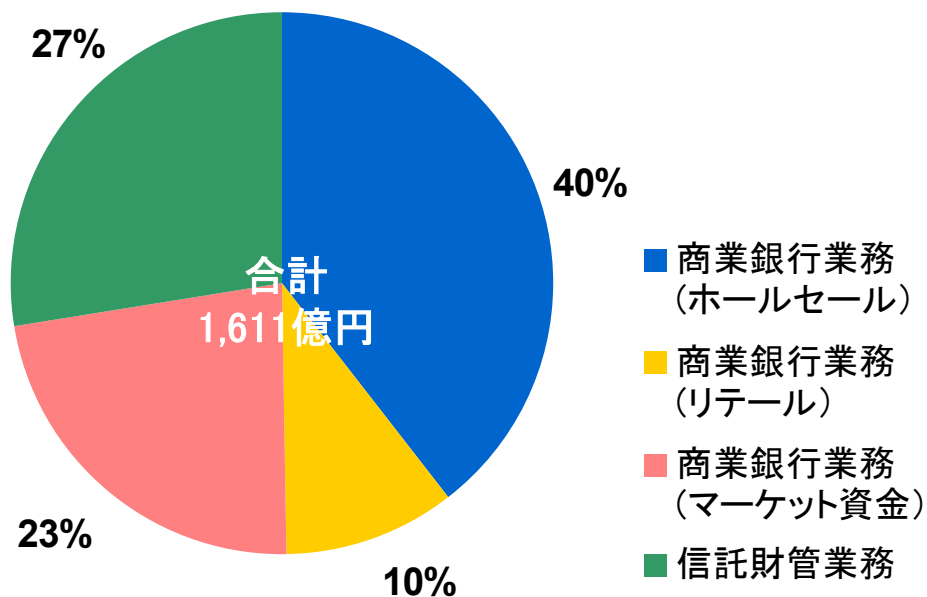
修正業務純益は、不良債権処理前の通常業務による収益を指します。



住友信託の特長(2)

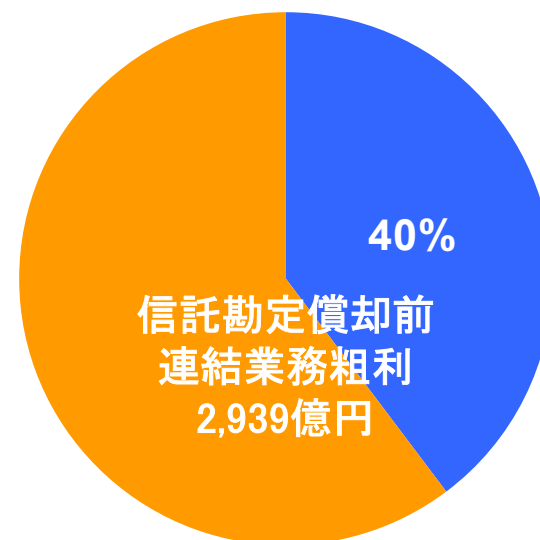
▶ 分散された収益源

2004年度 連結修正業務純益



▶ 高い財管手数料比率

2004年度 財管手数料比率(連結)



- 中期目標: 50%以上

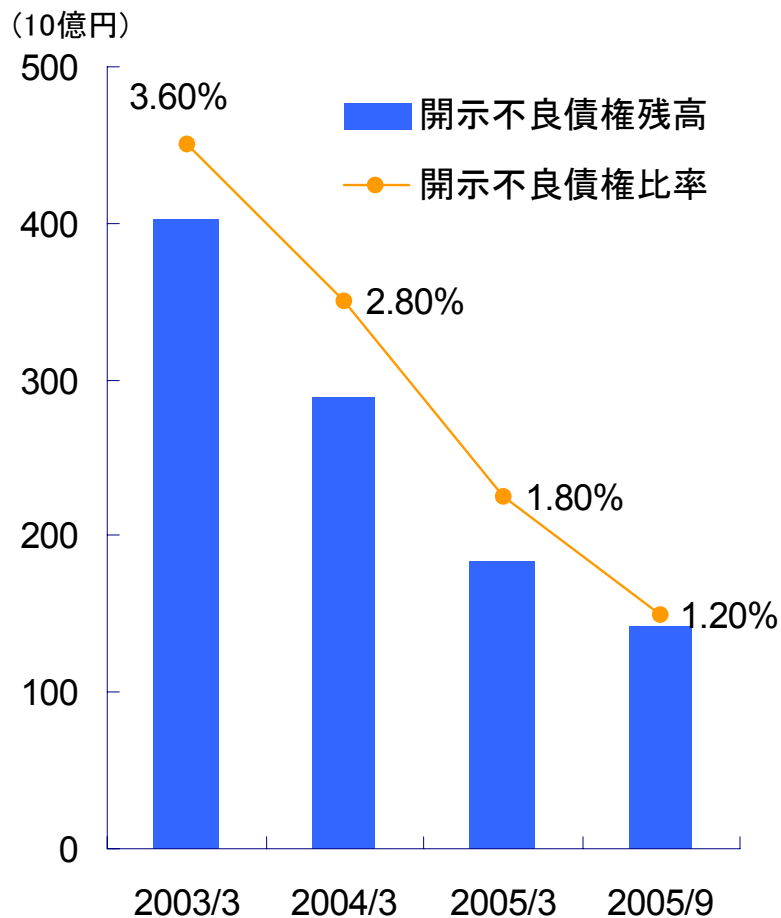


SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

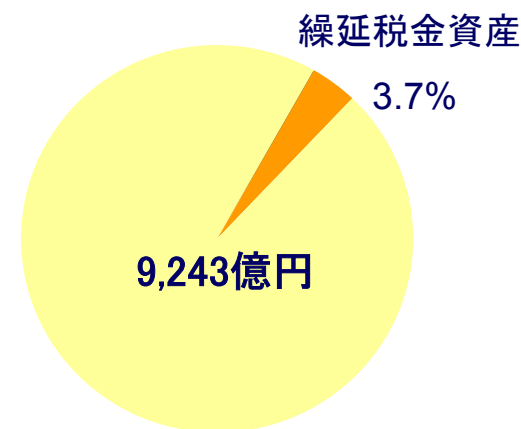
住友信託の特長(3)

▶ 高い資産の質



▶ 高い資本の質

2005年9月末のTier I 比率



Tier I 比率	6.75%
自己資本比率	11.16%

- 2004年1月公的資金完済
- 潜在的株式無し



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

最適なビジネスポートフォリオを有する
独立系金融機関として持続的成長を実現

「銀行・信託・不動産兼営」の 「トップクオリティ・トラストバンク」

収益の質 = 高い財管手数料比率 / 持続可能なボトムラインの成長 / 高ROE
資産の質 = 低い不良債権比率 / 高いRAROA / 高い分散効果
資本の質 = 低い繰延税金資産依存率 / 公的資金・潜在株式なし
顧客基盤の質 = 高いロイヤルティ / 高い取引深耕度

▶ 日本経済のパラダイムシフト

①貯蓄から投資へ ②高齢化社会と年金制度改革 ③証券化市場拡大



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

優先課題

〈優先課題〉

足元の成長確保

〈具体策〉

- ▶ リテール事業
- ▶ 不動産事業

重点的資源投入

事業基盤の拡充

- ▶ 資本・業務提携による顧客基盤の拡大
- ▶ 信託・財管事業強化に繋がる新たな事業領域へ進出

資本の有効活用

- ▶ レバレッジの拡大
- ▶ 株主還元強化（2004年に当面の配当性向として20%以上とする数値基準発表）

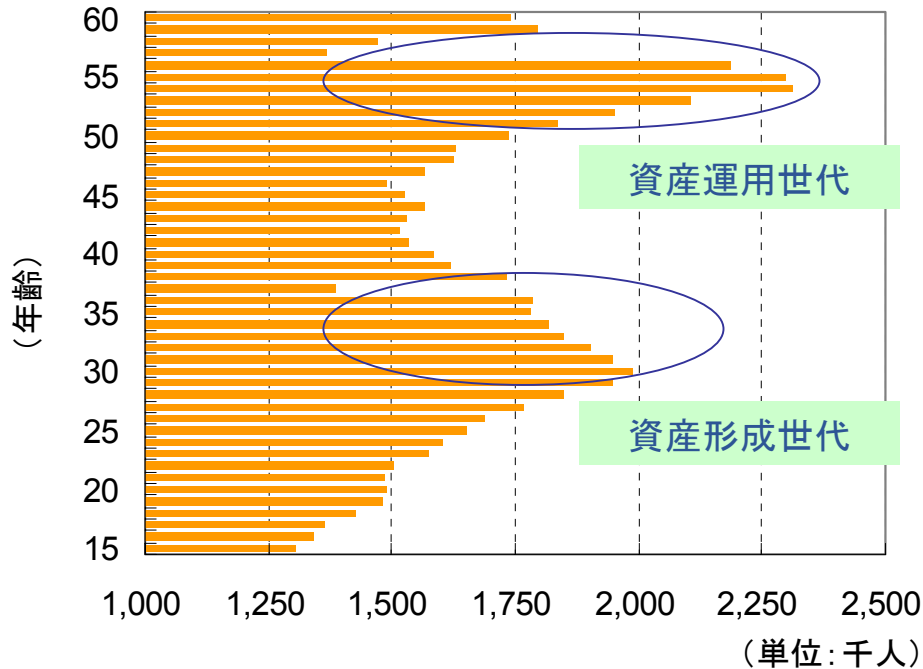


SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

フォローウィンド (リテール事業)

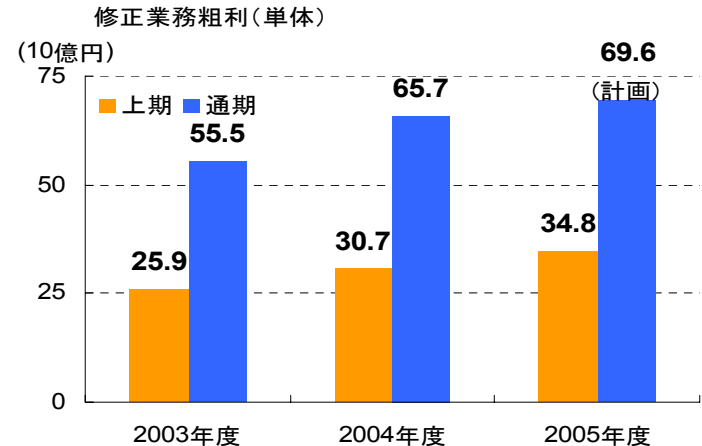
▶ 日本の人口動態 (2003年10月1日現在)



出展：総務省統計局「人口推計」より作成

- 団塊の世代が定年退職し、退職金を受領
- 団塊の世代の子供の世代が住宅購入適齢期に

▶ リテール事業の収益成長



▶ 主要施策

資産運用世代

- 50歳以上の世代へのフォーカス
 - テレビコマーシャル実施, 新商品投入
- コンサルティング営業の強化
 - 人員増強, 新店舗開設
 - 店舗改装 (個別相談ブース設置)
- すみしん不動産 (住宅仲介業) との共同店舗化

資産形成世代

- 競争力ある利息の住宅ローンの提供
- 職域マーケット拡大

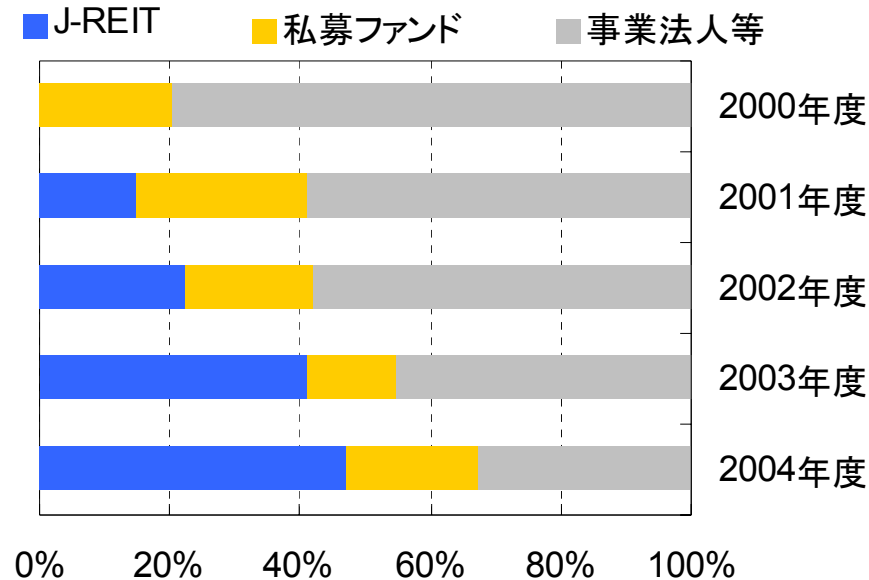


SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

フォローウィンド (不動産事業)

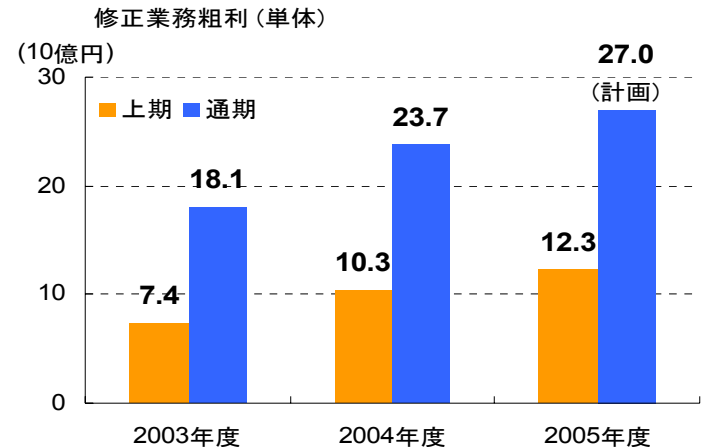
▶ 上場企業の不動産取引における購入主体別割合 (売買価格ベース)



(資料:TD-NET)

- 不動産投資ファンドの増加により不動産取引量が拡大
- 不動産投資ファンドの投資対象多様化(地域、規模、種類)

▶ 不動産事業の収益成長



▶ 主要施策

不動産取引情報の拡大

- 不動産投資家向けの営業戦力増強
- SMFG及び大和証券Gとの提携
- 不動産投資顧問業への積極的参加による不動産仲介機会拡大

事業分野の拡大

- J-REIT 事業 (トップリートアセットマネジメント)
新日鉄グループ、王子製紙グループ不動産会社との合併
- 私募ファンド事業 (住信不動産投資顧問)

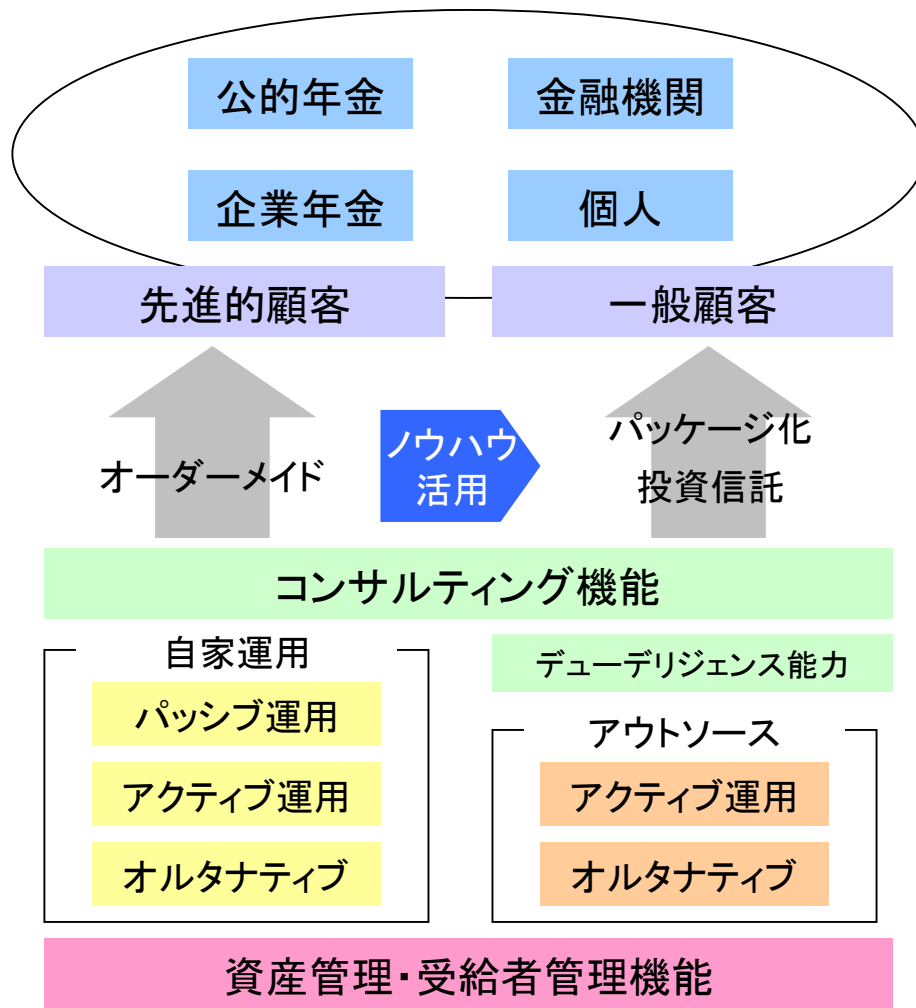


SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

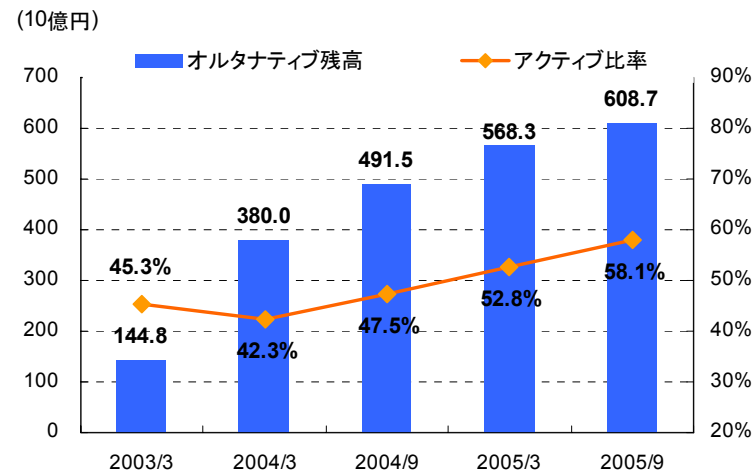
年金事業・投資マネージ事業

▶ 大規模・先進的顧客からより高い評価

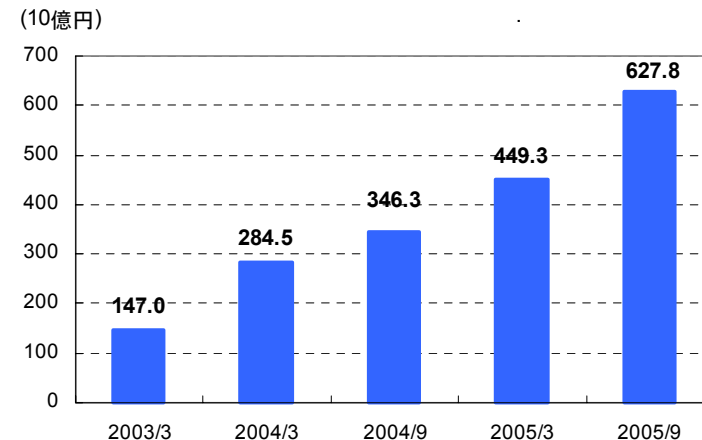


▶ 年金信託(DB)アクティブ運用比率

▶ オルタナティブ投資受託実績推移



▶ 住信アセットマネジメント 投資信託残高推移



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

主要な戦略的投資の概要

▶ 住信・松下フィナンシャルサービスの連結子会社化(2005年4月実施)

主要業務	投資額/持分	総資産	期待利益水準	連調償却	投資利回り(注)
リース カード・割賦	534億円 66%	4,961億円 2005/3末	41億円 当期純利益 2005/3期実績	20億円/年 5年均等	9.1% 必要Tier1 6.0% 想定

▶ ファーストクレジットの買収(2005年11月実施)

主要業務	投資額/持分	残高目標	期待利益水準	連調償却(見込)	投資利回り(注)
不動産担保 貸付	1,300億円 100%	2,000億円 2010/3末	90億円 当期純利益 2010/3期目標	50億円/年 20年均等	8.0% 必要Tier1 6.0% 想定

▶ SBIグループとの資本・業務提携(インターネット銀行の共同設立:2007年上期予定)※

主要業務	投資額/持分	口座数目標	期待利益水準
預金・投信販売 スモールローン 内外為替ほか	100億円 50%	80万口座 7期目	100億円 業務純益 7期目

※別途、SBIグループと100億円の株式相互取得実施予定。

(注)以下の計算式で試算したもの。(但し、各項目とも持分相当を使用。)

期待利益水準(税引後)

÷(資産額×6.0%+当初連結調整勘定額)

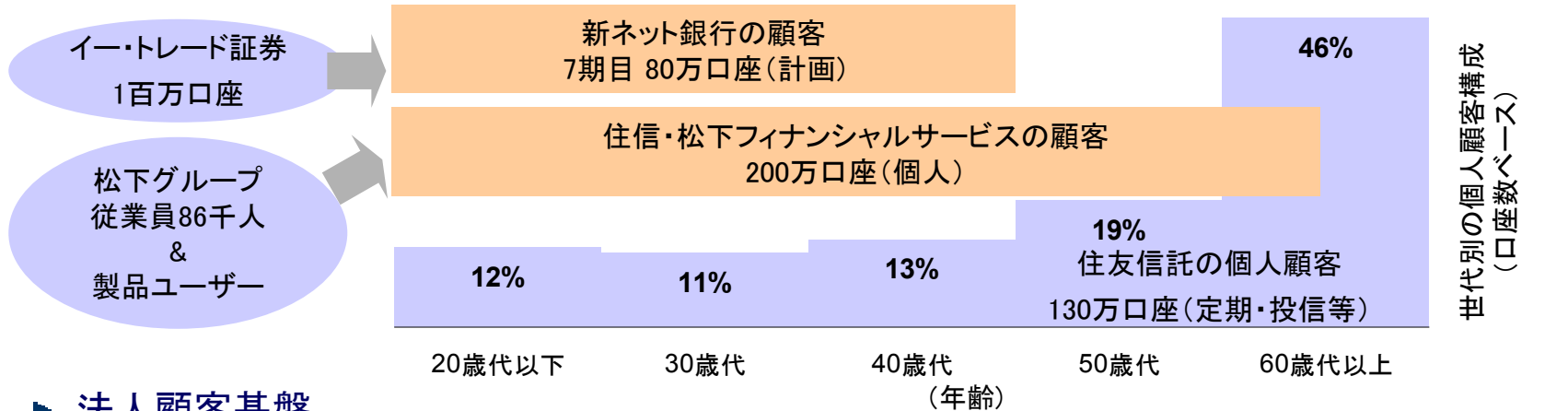


SUMITOMO
TRUST

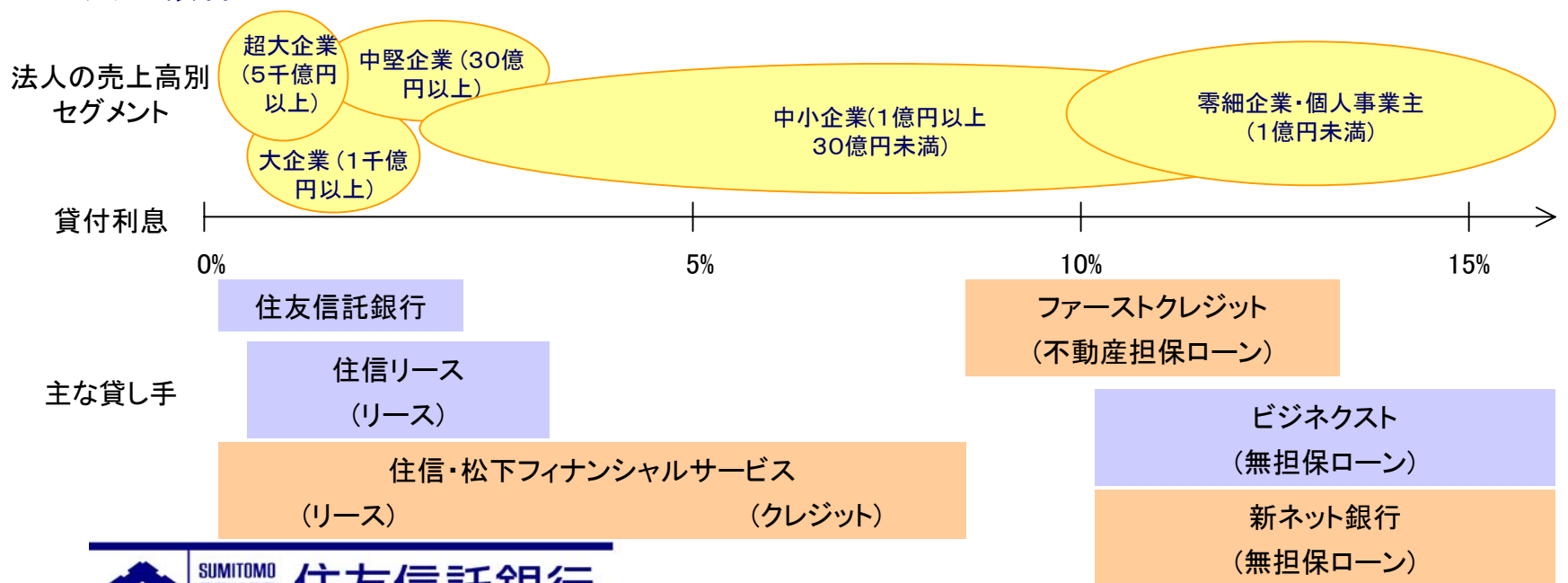
住友信託銀行

顧客基盤・事業基盤の拡大

▶ 個人顧客基盤



▶ 法人顧客基盤



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。